

Pippi Longstocking™ and the World of Astrid Lindgren



© The Astrid Lindgren Company / Ingrid Vang Nyman

2018年
7/28
(土)
↓
9/24
(月・祝)

長くっ下のピッピの世界展

リンドグレンが描く北欧の暮らしと子どもたち

開館時間: **10:00-17:00** *16:30 受付終了

休館日: 月曜日 *9/17(月)は開館、9/18(火)は休館

入館料: 大人1,300円(1,000円)、大高生800円(700円)、中小生400円(300円)、未就学児無料

*土曜日は中小生無料 *()内は各種割引料金[20名以上の団体・65歳以上の方・当館メルマガ登録者ほか]

*障がい児者、付添者1名は通常料金の半額[証明書をご提示下さい]

*誕生日当日にご来館された方はご本人のみ無料[証明書をご提示下さい。休館日の場合は適用できません]

主催: 東京富士美術館 後援: スウェーデン大使館、デンマーク大使館、エストニア大使館、八王子市、八王子市教育委員会

協賛: 野崎印刷紙業 協力: アストリッド・リンドグレン社、コピーライツアジア、徳間書店、岩波書店、偕成社、スウェーデンハウス、イケア・ジャパン

企画: 東映、東京富士美術館 監修: 菱木見子(北欧児童文学翻訳家)

pippi-ten.com

f facebook.com/pippiten

📷 [pippiten](https://pippiten.com)

TOKYO FUJI ART MUSEUM
東京富士美術館

東京都八王子市谷野町492-1 TEL: 042-691-4511



1941年の冬、アストリッド・リンドグレンは、風邪で寝込んでいた愛娘を喜ばせようと、天衣無縫な女の子の活躍を次々に即興で語りました。これが『長くつ下のピッピ』誕生のきっかけです。そして1945年、第2次世界大戦終戦の年に出版された世界一強い女の子ピッピの本は、またたく間に世界中の子どもたちの人気を集め、今日まで70年以上にもわたり読み継がれてきました。

本展では、スウェーデン王立図書館所蔵、ユネスコ“世界の記憶”に登録された『長くつ下のピッピ』等の貴重な原画をはじめ、スウェーデン、デンマーク、エストニア他より、「ピッピ」「ロッタちゃん」「やかまし村」シリーズ等の原画や、オリジナル原稿、愛用品など約200点が出品され、その多くが日本初公開となります。さらに、本展のために制作された特別映像や、ピッピの住む「ごたごた荘」を再現した大型模型もお楽しみいただけます。また、リンドグレン作品に描かれる、スウェーデンの生活文化、自然との共生、子育てといったテーマにも焦点が当てられます。94年の生涯に多くの子ども向け作品を生み出し、“子どもの本の女王”と呼ばれたアストリッド・リンドグレンは、その人生と作品において、子どもの人権を守り、不正に対して声をあげ、動物の権利の擁護者としても、あらゆる虐待に反対の立場を表明したオピニオンリーダーでもありました。そんな作者の知られざる人生もご紹介します。

すべての子どもたちと家族、かつて子どもだった大人たちに贈る、ノスタルジックで心温まる展覧会です。

In the winter of 1941, Astrid Lindgren told her daughter, who was sick in bed with a cold, the story of a free-spirited young girl who loved adventure. These improvised bedtime stories were later to become known as the children's book, "Pippi Longstocking", published in 1945. Now over 70 years later, this story continues to be read.

In this exhibition, you will be able to enjoy more than 200 exhibits including original drawings, manuscripts, personal relics and other materials on loan from Sweden, Denmark, and Estonia. In addition, original drawings of "Pippi Longstocking" from the National Library of Sweden, which were inscribed in the UNESCO Memory of the World Register in 2005, will be exhibited in Japan for the first time, along with a majority of loans making their Japan debut. There will also be films and a big model of Pippi's house, Villa Villekulla.

Lindgren, who passed away at the age of 94, strived to protect children's rights, protesting injustice and all forms of abuse throughout her life and through her books, becoming an influential opinion leader of her time. This unknown aspect of Lindgren will also be introduced in the exhibition.



©The Astrid Lindgren Company / Jacob Fored / ITT

アストリッド・リンドグレン (1907 - 2002) 世界的に有名なスウェーデンの児童文学作家。その著書は、全世界100か国以上で翻訳され、出版部数は総計1億6000万部にのぼる。男女同権、女性の社会進出や男性の育児参加があたりまえの北欧社会における先駆的な女性でもあった。



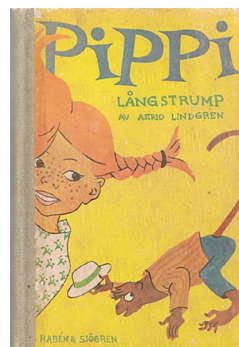
リンドグレンがタイプし、愛娘の10歳の誕生日に贈った『長くつ下のピッピ』原稿がスウェーデン国外に初出展！



イングリッド・ヴァン・ニイマン『ピッピ 船にのる』挿絵原画 1952 スウェーデン王立図書館所蔵 (ユネスコ「世界の記憶」登録)



桜井誠『長くつ下のピッピ』表紙画 1964 黒姫堂所蔵



アストリッド・リンドグレン作/イングリッド・ヴァン・ニイマン画『長くつ下のピッピ』初版本 1945 アストリッド・リンドグレン社 (スウェーデン) 所蔵



イロン・ヴィークランド『ピッピ 船にのる』挿絵原画 1997 ハーブサルとレーナー美術館蔵/イロン・ヴィークランド (エストニア) 所蔵



イロン・ヴィークランド『長くつ下のピッピ』挿絵原画 1961 アストリッド・リンドグレン社 (スウェーデン) 所蔵



リザ・ラーソンが本展のために制作する陶器作品『ウマを持ち上げるピッピ』他も展示＆販売！※仕様変更となる場合がございます。

Text and Illustration Astrid Lindgren ©The Astrid Lindgren Company, Courtesy of The Astrid Lindgren Company / Text Astrid Lindgren, Illustration Ingrid Vang Nyman ©The Astrid Lindgren Company, Courtesy of The Astrid Lindgren Company / Illustration Ingrid Vang Nyman ©The Astrid Lindgren Company, Courtesy of the National Library of Sweden, Stockholm / Illustration Ben Wiklund, ©Ben Wiklund, Courtesy of The Astrid Lindgren Company / ©Lisa Larson, Made by Keramikskåden Sweden, Courtesy of The Astrid Lindgren Company

Pre 富士美茶会 体験！はじめて点てる茶道教室

8/5 (日) 10:30～ / 11:30～ / 13:30～ / 14:30～ ※各30分程度

美味しい抹茶と「長くつ下のピッピ」の世界展特別仕様の菓子付。楽しく日本の伝統文化に親しめます。(事前申込制)
講師：阿部宗栄 (茶道裏千家準教授)
参加費：500円 (抹茶/菓子/受講料込)
定員：各回15名程度 ※未就学児は保護者同伴

読み聞かせ&トーク

漆原智良 (児童文学作家/教育評論家)
× 山中桃子 (イラストレーター/絵本作家)

8/12 (日) 11:00～ / 14:00～ ※各1時間程度

創作活動の秘話や東京大空襲をテーマにした新作『火のカッパ』の読み聞かせをします。

※各イベントの申し込み等詳細は当館HPより【開催予定のイベント】を参照。

関連イベント

*全て【体験学習八王子連携プログラム】の一環です

ピッピ (22) の日
ギャラリートーク

8/22 (水) 9/22 (土)

各日14:00～ ※30分程度

担当学芸員がみどころを紹介します。

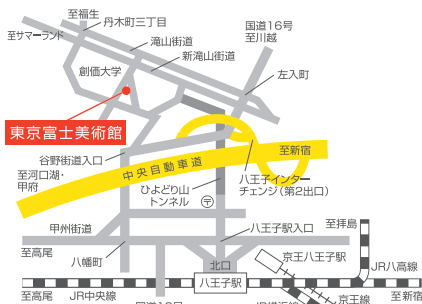
自由絵描きコーナー

「世界一〇△□なお友だち」

会期中常設

“世界一つよい女の子ピッピ”のお友だちを描こう！あなたの作品も展示されるかも！

*関連して創価大学・ミュージアム・エデュケーション1 受講生作品も設置。



TOKYO FUJI ART MUSEUM
東京富士美術館

東京都八王子市谷野町492-1 TEL:042-691-4511

バス ▶ JR八王子駅北口

始発から12:29発までは、西東京バス14番のりばより 創価大正門東京富士美術館行き、または創価大学循環、「創価大正門東京富士美術館」下車
12:31発以降は、西東京バス11番 (八日町経由) もしくは12番 (ひよどり山トンネル経由) のりばより 創価大正門東京富士美術館行き、創価大学循環、「創価大正門東京富士美術館」下車

▶ 京王八王子駅

西東京バス4番のりばより 創価大正門東京富士美術館行き、または創価大学循環、「創価大正門東京富士美術館」下車

▶ JR拝島駅 (1時間1本程度運行)

西東京バス3番のりばより 工学院大学 (高月経由) 行き、「創価大正門東京富士美術館」下車/純心女子学園行き、「純心女子学園」下車、徒歩10分

▶ JR秋川駅 (1時間1本程度運行)

西東京バス2番のりばより 京王八王子駅 (サマーランド、ひよどり経由) 行き、「純心女子学園」下車、徒歩10分

お車

中央道八王子インターチェンジ第2出口より 八王子市街方面へ進み、国道16号に合流。三つ目の信号 (谷野街道入口) を右折、直進し、二つ目の信号 (谷野町) を右折。圏央道あきる野インターチェンジを左折し直進。丹木1丁目声沢交差点を右折し直進。

pippi-ten.com

http://www.fujibi.or.jp/

facebook.com/fujibi

tokyofujibi

メールマガジンを配信いたします。ご登録ください！



*1枚につき10名様まで有効
大人 1,300円 → 1,000円
高校生 800円 → 700円
小学生 400円 → 300円
割引券